

平成30年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価

項目	質問内容	はい	いいえ	改善目標・工夫していること等
体制整備・環境	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		イベント等でスペースが必要な場合は、面談室等を使用し安全に活動できるよう工夫しています。
	② 職員の配置は適切であるか	○		児童発達支援管理責任者1名、児童指導員・指導員9名(常勤3名、非常勤6名)が配属されています。定員10名の利用者に対し児童指導員等3名を配置し、必要に専門職(看護師・臨床心理士等)を配置する等の体制を整えています。
	③ 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	建物の構造上、十分なバリアフリーになっているとは言い難い状況ですが、エレベーターが設置され、段差もほとんどありませんが、車いす等の利用は幅等の制限が出てしまいます。
	④ 事業所内は、清潔で整理整頓された空間になっているか	○		トレーニング終了後、事業所内の清掃と感染対策を含めた消毒を実施しています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		目標(個々、教室)等に対、職員一人一人が評価を行い、評価結果を基に協議し(互いの意見をすり合わせを行い)合意のもとで改善等を決定し取り組んでいます。
	⑥ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年2回、事業所作成の保護者アンケートを実施し、その結果を公表、教室運営の質の向上のために反映しています。
	⑦ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所ホームページ、ワムネットにて公表しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		前回の受審結果を踏まえ、改善に向け取り組んでいます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		トレーニング研修を受講し、教室内勉強会にて共有の機会を設けています。外部研修への参加の機会を増やし、更なる知識・技術の向上の努めていきます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		会社独自のアセスメントツールを使用し、保護者からの聞き取りにより客観的作成しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		会社独自のアセスメントツールを使用しています。
	⑫ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		日々のトレーニング、月のイベント内容を児童指導員等が考案し、その内容を元にチーム内で協議し実践しています。
	⑬ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		週間テーマを設定した中で、毎日のトレーニングに変化をつけ実施しています。
	⑭ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		子どもたちの障害特性に合わせて、平日は集団プログラム、休日は創作活動や外出イベント等の地域交流の機会を設けています。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者のニーズの他、児童指導員等の評価により、個別トレーニングへの提案を行い、実施しています。併せて、放課後等デイサービス支援計画の追加作成を行っています。
	⑯ 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その日のトレーニングの目的や内容、留意点とうについて共有しています。
	⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		トレーニング終了後に全員で振り返りを実施し、記録を取っています。その際に、ヒヤリハットの観点から支援を振り返る時間を設け、危険認知について全員で共有し改善できるよう努めています。
	⑱ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々、支援日誌を作成しています。その日に検証すべきものは、振り返りを行い迅速に対応できるよう努めています。
	⑲ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		毎月モニタリングを実施し放課後等デイサービス支援計画に基づく状況確認しています。また、3ヶ月に一度放課後等デイサービス支援計画の見直しを必要に対応しています。
⑳ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		日々のトレーニング、イベント等では、学校や家庭と異なる空間・人・体験等を通じた支援を主軸とし必要に保護者・学校と連携を図りながら支援しています。	
関係機関や保	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、担当児童指導員等内容に合わせて出席しています。
	㉒ 学校との情報共有(年間計画・行事予定表などの交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者の同意のもと、連携をしています。
	㉓ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアの必要な児童の受け入れはありません。今後、受け入れる場合には保護者・医師との連携を取ってまいります。
	㉔ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者の同意を得た上で、保育所・療育センター等の連絡連携を行っています。
	㉕ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	卒業後に、スムーズに移行できるよう必要に情報提供を行なっていきます。

護 者 と の 連 携	②⑥	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	今年度、中野区実施のスーパーバイザー制度を利用し外部専門家により助言を受けていきます。今後、研修が実施された際には積極的に参加していく方針です。
	②⑦	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	現在は、積極的な実施をしておりませんが、共生社会の実現に向けた後方支援の位置づけである事を認識し、適切な連携と子どもたちの地域社会への参加の視点も踏まえ前向きに検討していく方針です
	②⑧	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	中野区主催の事業所連会へ参加し、教室内共有に努めています。
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時に、トレーニングの様子や気になる点等を共有するよう努めています。電話、メール等のツールを使い情報の共有、3ヶ月に1度の保護者面談を実施しています。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	送迎時や保護者面談時に、教室内での対応方法をお伝えし、家庭内での療育等につなげられるよう支援方法をお伝えしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に、必要書類を用意し書面に沿って説明を行っています。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	担当職員または児童発達支援管理責任者を中心に、事業所内で共有し必要に支援を行っています。事業所内での対応が困難な場合、社内に設置する運営管理室、社内での対応が困難な場合には教育センター等に段階的な支援体制をとっています。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	現在、イベント企画等を通じて交流を図ることがありますが、十分な支援体制ではありません。保護者のニーズを確認しながら、実施を検討していきます。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	苦情窓口を設置し、対応にあたっています。その他、社内に設置された運営管理室に必要に相談をし、事業所内での情報共有を徹底しています。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	教室HPIにて「ハッピー通信」を配信し、トレーニングやイベントの様子をお伝えしています。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	○	社内にて個人情報法に関する研修を行いマニュアルを作成しています。それに基づく、情報管理を徹底しています。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚的に分かりやすいよう、絵や文字で表示、マカトンを使用したコミュニケーション等、それぞれに応じた支援を実施しています。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	現在、積極的な取り組みは実施しておりません。今後、ボランティアの受け入れなど段階的に実施していく事を検討しています。
非 常 時 等 の 対 応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	職員に対しては、勉強会の実施等により情報共有を行っています。保護者に対して、避難経路の掲示・感染症予防のポスター掲示等を行っています。今後、マニュアル作成を行い周知してまいります。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎年、5月と10月に放課後等デイサービス利用児童に対し避難訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止のチェックリストを年に1度実施しています。その他、会社・事業所内での勉強会を実施しています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	やむを得ず身体拘束の可能性のある子どもには、あらかじめ保護者に説明を行い個別支援計画に記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	利用契約時にアレルギーに関する確認を行っていますが、医師の指示書に基づく対応をしておりません。今後、必要に応じて対応していきます。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	提出されたヒヤリハット年度毎にまとめ・分析結果を事例集として共有しています。また、他事業所における事例も共有し多くの事例から、対策等の検討に使用しています。	